

松代総領事着任及び「日本移民の日」記念レセプションの実施

２０２６年６月１８日、総領事公邸にて松代総領事の着任及び「日本移民の日」記念レセプションを開催しました。レセプションには、連邦政府関係者、連邦議員、州議会議員、パラナ州内市長、市議会議員、クリチバ市政府関係者、領事団、日系団体役員、日本企業関係者など、１００人を超える方々にご出席いただきました。

松代総領事は、挨拶において、今から１１８年前の１９０８年６月１８日、日本からブラジルへの最初の移住者がサンパウロ州サントス港に降り立った記念すべき「日本移民の日」に着任レセプションを開催できることはこの上ない喜びだと述べた上で、２００６年から２００８年に在クリチバ総領事館次席として勤務した際に、２００８年の移住１００周年を日系社会とともに祝した思い出を振り返りつつ、外交官人生で最も思い出深く且つ最も愛すべき任地に今回総領事として再び赴任できたことを心から嬉しく思うと語り、２０２８年の移住１２０周年に向けて日系社会と協力しながら、日本とパラナ州・サンタカタリーナ州の更なる絆のため尽力していく考えを示しました。

式典では、移住関連書籍・資料及び移住当時の写真が展示されたほか、日系ミュージシャンによる演奏、日本産の日本酒、梅酒の試飲が行われ、在外公館料理人による日本食が提供されました。



松代総領事挨拶



ニシモリ下院議員による挨拶



タカヤマ・クリチバ日伯文化援護協会による
乾杯の発声



日系ミュージシャンによる演奏



日本酒、梅酒コーナー



移住関連書籍・資料及び移住当時の写真展示



提供された日本食



会場の様子